

製品安全データシート

GMPG-S07
作成・改訂日 2012年02月24日

1. 製品 及び 会社情報

製品名 : アクアプレス GS-7
MSDS整理番号 : GMPG-S07

会社名 : アクア化学株式会社
住所 : 大阪府和泉市テクノステージ3丁目7番24号
担当部署 : 試験・研究室(作成者) 石戸明人
電話番号 : 0725-53-5510
FAX番号 : 0725-53-5520
緊急連絡先 : 化成部品 電話番号 0725-53-5510

推奨用途及び使用上の制限 : 金属部品加工用潤滑油として使用する。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 : 区分4

健康に関する有害性
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
吸入性呼吸器有害性 : 区分1

※「分類できない」「区分外」「該当しない」の項目は記載省略

GHSのラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 可燃性液体
皮膚刺激
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉して涼しく換気の良いところに置くこと。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置をとること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

: 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせず、医師の診断/手当を受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合 : 多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。(コンタクトレンズは外して洗う)
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
火災の場合 : セクション5「火災時の措置」参照。

保管 廃棄

: 密閉した容器で涼しく換気の良い場所で保管すること。
: 内容物/容器は関係法令に従って廃棄すること。

国/地域情報 : 「15. 適用法令」の項 参照

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名 または一般名	: 高純度炭化水素(基油)
CAS No	: 企業秘密の為、記載できない
成分及び含有量	: 100%
官報公示整理番号(化審法)	: 企業秘密の為、記載できない

4. 応急措置

吸入した場合	: 適切な呼吸用保護具を使用して当人を速やかに曝露場所から移動させる 必要に応じて医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合	: 多量の水及び石鹼で洗い流す。甚だしく汚染された衣服・靴を脱ぐこと 症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける
目に入った場合	: 直ちに清浄な水で洗眼し、刺激が続くようであれば医師の処置を受ける
飲み込んだ場合	: 無理に吐き出そうとしてはならない。 安静にし、速やかに医師の手当を受ける

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消化剤	: 棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある
火災時の特有な危険有害性	: 突沸の危険性がある為、貯蔵容器に直接の水噴霧を回避する
特定の消化方法	: 可燃物を火災現場から隔離し、消火作業は可能な限り風上から行う
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は必ず保護具を着用する

6. 漏出時の措置

保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項	: 作業の際は保護具を着用し、付近の着火源となるものを除去する : 漏出物が河川等に流出しない様に注意する
封じ込め及び浄化の方法 陸上での漏出	: 着火源を除去し、液体が排水溝・水路等に入るのを防止する : 流出した液体に砂、または土をかける : 大量に流出した場合はポンプ(防爆対応またはハンドポンプ)で吸い上げる : か、適切な吸着剤で回収する
海上での漏出	: 着火源を除去し、他の船舶が近寄らないよう要請する : 漏出した液体はすくい取るか適切な吸着剤を使用して回収する
二次災害の防止策	: 関係箇所に通報し応援を求める

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 技術的対策	: 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らない様にする : 適切な保護具(防毒マスク「有機ガス用」・保護眼鏡・保護手袋等)を着用する : 容器を転倒・落下させる等の衝撃を加えたり、引きずる等の乱暴な扱いをしてはならない
安全取扱い注意事項	: 取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で行う : 火気・熱源等の点火源に近くでの取り扱い・開封・貯蔵をしてはならない : 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する
保管 適切な保管条件	: 換気の整った冷暗所にて保管する事 : 火気・熱源を近づけてはならない
安全な容器包装材料	: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度 日本産業衛生会	: 設定されていない(2002年度版)
ACGIH	: 設定されていない(2002年度版)
設備対策	: 局所排気装置、全体換気の設備を使用する
保護具 呼吸器の保護具	: 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する

手の保護具	: 耐化学薬品性手袋
目の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体への保護具	: 非浸透製の保護服

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	: 液体(20℃)
色	: 無色透明液体
臭い	: 僅かな炭化水素臭
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし(化学的中性)
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 195～203℃
引火点	: 62℃以上
爆発限界	
上限	: 5.3vol%
下限	: 0.7vol%
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: 0.775g/cm ³
溶解性	
水	: 殆ど不溶
その他の溶媒	: データなし
自然発火温度	: 200℃以上

10. 安定性及び反応性

安定性	
安定性	: 熱、光に対して安定
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応し火災や爆発の危険がある
混触危険物質	: 過酸化剤、強酸化剤
危険有害分解生成物	: なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口(ラット) LD ₅₀ >5000mg/kg
皮膚腐食性	: 軽度の毒性。繰り返し、または長時間接触すると皮膚の脱脂及び乾燥をもたらす、刺激を生じて炎症を起こすこともある。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 僅かに刺激性があるが眼組織を障害しない
呼吸器感作性または皮膚感作性	
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: なし
生殖細胞変異原性	: 類似物質では陰性であり、変異原性はないと推定される
発がん性	: 国際機関において発がん性と評価された事例はない
生殖毒性	: 類似物質では生殖毒性なし
特定標的臓器毒性	
単回曝露	: データなし
反復曝露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: 炭化水素で低粘度のため肺に入ると危険

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	: データなし
甲殻類	: データなし
藻類	: データなし
その他の生物	: データなし
残留性・分解性	: 緩やかな速度で分解されると考えられ、本質的生分解性である 当物質は廃水処理施設で除去されると考えられる
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: 大気、水域、土壤に移動する可能性がある

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を得た産業廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を委託する
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG(国際海上危険物規則)コード

国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)

国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
包装等級	: 該当しない

国内規制

消防法 : 第4類第2石油類(非水溶性液体)

輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器の漏れがない事を確かめ、転倒・落下しないように丁寧に扱う
直射日光・高温(40℃以上)を避けて取り扱う

15. 適用法令

消防法	: 第4類第2石油類(非水溶性液体)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法	
特化則	: 該当しない
有機則	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
通知対象物	: 該当しない
化審法	: 特定化学物質及び指定化学物質に該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: ばら積み運送 未査定液体物質 個品運送 該当しない
化学物質管理促進法(PRTR)	: 該当しない

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手出来た資料、情報、データに基づいて作成致しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。